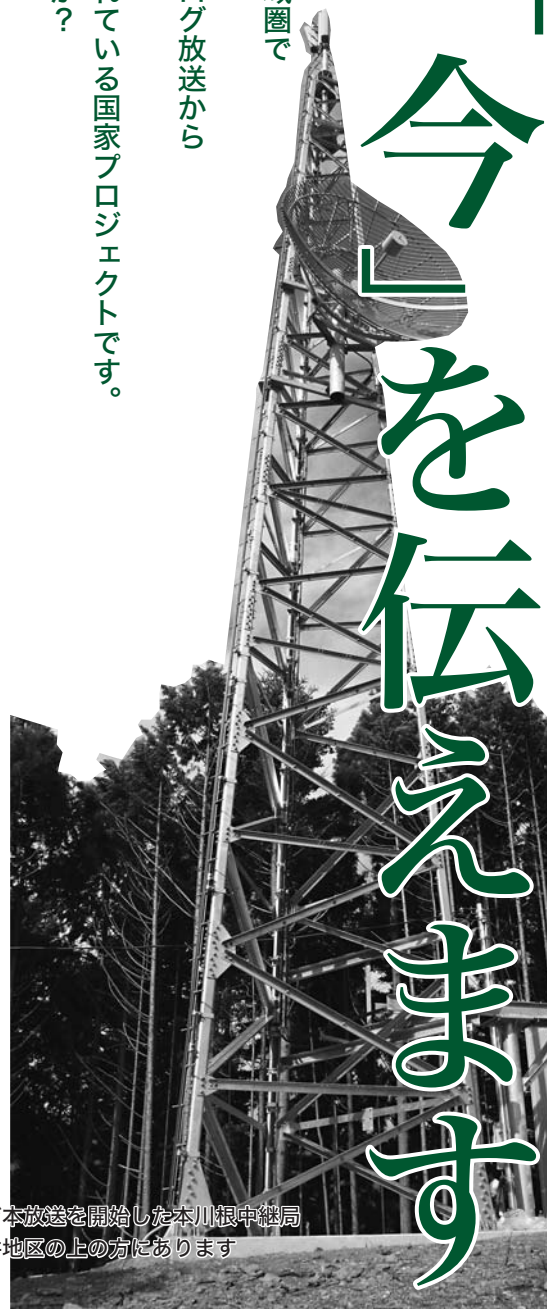


# 地デジの「今」を伝えます

地デジとは「地上デジタル放送」の略。2003年12月1日から関東・近畿・中京の3大広域圏で地上波のUHF帯を使用して開始された放送です。2011年7月24日には、現在放送されているアナログ放送から地上デジタル放送へと完全移行します。テレビ放送のデジタル化は、国の方針として進められている国家プロジェクトです。では、なぜ今、デジタル化の必要があるのでしょうか？地デジの「いろは」と「今」を伝えます。



**1 デジタル化の理由**  
アナログからデジタルへの移行は、利便性の向上だけが目的ではありません。その主な理由とは何なのでしょう。

**1 家庭の情報化の進展**  
一般家庭に最も普及し、身近なメディア媒体となったテレビ。この放送を従来のアナログ放送からデジタル放送にすることで、誰でも簡単な操作で、さまざまな情報を入手できるようになります。テレビが、パソコンより手軽に、便利に扱える情報ツールになっていくのです。

**2 電波周波数の有効利用**  
電波というのは無数にあると思われがちですが、実際に使用できる周波数には限りがあります。今、日本の電波事情は非常にひっ迫しています。従来のア

ナログ放送に加え、携帯電話の普及や無線を用いたブロードバンドサービスなどの登場で、周波数に「空き」がなくなっているのです。

地上波テレビ放送をデジタルに統一することで、現在主に使われているVHF帯およびUHF帯の一部を解放できます。これにより空いた帯域を他の通信に使用することができるようになります。今後現れてくるであろう新たな通信サービスに備えることができます。

**3 記録媒体などのデジタル化**  
現在では音楽や映画、書籍といったさまざまな情報がデジタル化されていますが、テレビ放送は未だにアナログ放送を続けています。デジタル製品が主流となっている今、テレビ放送もアナログからデジタルへと移行するのは必然といえるでしょう。

**2 具体的に何が変わる**  
ここでは、テレビ放送がアナログからデジタルへ移行することで起こる大きな変化の代表例を紹介します。

**1 高品質の映像・音声**  
アナログ放送では、放送電波が視聴者に届くまでに、映像音声が悪化する場合があります。しかし、デジタル放送では劣化やゴーストはなくなり、高品質の映像・音声が届けられるようになります。

**2 リモコンで情報検索・閲覧**  
地上デジタル放送はデータ放送であるため、それを利用した情報の閲覧が簡単にできます。リモコンのボタン一つで、その日のニュースや天気予報・視聴中の番組に関連した情報などが、インターネットのように楽しむ

ことができます。

**3 双方向サービスの利用**  
テレビに通信回線を接続することで、視聴者とテレビ局が双方向に情報のやり取りをすることが可能になります。

視聴者参加型のクイズ番組への参加や、テレビショッピングなども、電話やファクスする必要がなくなります。テレビから情報送信をするだけで可能になるためです。

### 3 地デジのデメリット

このように地デジにはたくさんメリットがありますが、同時にデメリットも発生します。


**1 受信障害が発生しやすい**  
アナログ放送で用いられるVHF帯の電波に比べ、地デジ放送で用いられるUHF帯は電波の直進性が強く、ビルや山の陰

では「受信障害」が発生しやすいくなります。

**2 新たな難視聴地域も**  
アナログ放送の場合は、電波が微弱な状態でもかろうじて受信することができました。しかしデジタル放送の場合、電波の強さがある一定の水準を下回るとまったく受信できなくなるのです。つまりデジタル放送では、鮮明に受信できるか、まったく受信できないかのどちらかになります。


本町では、これまでも難視聴地域が点在しており、共同受信アンテナなどを設置してその対応を図ってきました。しかし地デジに変わること、新たな難視聴地域が生じることは確実です。既に中川根中継局エリアでは、いくつかの地域で、新たに共同受信アンテナを設置して対応することが決定しています。

### デジタル受信機器を用意しましょう



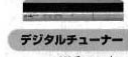
従来のアナログテレビでも、デジタルチューナー、またはデジタルチューナー内蔵録画機を取り付ければ視聴できます。ただし、お使いの受信機によって画質などは異なります。

アナログテレビ

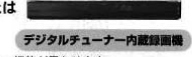


デジタルチューナー内蔵録画機

+ または



デジタルチューナー



デジタルチューナー内蔵録画機

※チューナーによって機能が異なります。

このマークが表示されている商品には、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送が見られるチューナーが内蔵されています。

## まだ受診されていない皆さんへ 国保特定健診・後期高齢者健診

生活健康課



本町では、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームの早期発見・改善を目的に、国民健康保険の40歳以上の人を対象として「特定健診」、75歳以上（後期高齢者）の人を対象として「健康診査」を実施しています。対象者の皆さんには、受診券・問診票などを送付しています。まだ受診されていない人は、ご都合のつく会場で、受診してください。

静岡厚生病院（午前）	
受付時間	午前8時30分～10時30分
会場	実施日
山村開発センター	9月24日(木)・25日(金)・28日(日)・29日(火)・30日(水)
徳山コミュニティ防災センター	10月1日(木)・2日(金)・6日(火)
地名集会所	10月5日(日)
文化会館	1月20日(水)

榛原医師会（午後）	
受付時間	午後1時～1時45分
会場	実施日
久保尾集会場	9月8日(火)
瀬平集会場	9月14日(日)
梅高集会場	9月25日(金)
水川集会場	10月14日(水)
下泉コミュニティセンター	10月22日(木)
山村開発センター	10月23日(金)
徳山コミュニティ防災センター	11月4日(水)
文化会館	11月13日(金)
田野口集会場	11月17日(火)
下長尾集会場	11月18日(水)

※事前に希望した健診機関であれば、どの会場でも受診できます。自分がどちらの健診機関（厚生病院・榛原医師会）を希望したか忘れてしまった場合は、お問い合わせください。

【問】  
生活健康課健康室・町民室 ☎ (56) 2222  
同住民生活室 ☎ (58) 7080

### 4 地デジを見るために

地デジを見るためには、自宅が地上デジタル放送受信エリアに入っていることが必要です。お近くの電器店か地デジコールセンターにご確認ください。また放送がデジタルになったといっても、これまで使っていたアナログテレビが使えなくなるわけではありません。デジタルチューナー、またはデジタルチューナー内蔵録画機を取り付ければ視聴できます。ただし、使っている受信機によって画質などは異なります。新しくテレビを買い替える人は、「地上デジタルテレビ」と指定して買いま

### 5 地デジ本町の対応は

完全地デジ化まであと2年。本町の地デジはどこまで対応が進んでいるのでしょうか。

●中川根局・本川根中継局開始  
中川根中継局（下長尾）は昨年11月から、本川根中継局（東藤川）は今年8月末から、地上デジタルテレビ放送の本放送を開始しました。

徳山中継局は、今年の12月末までに本放送を開始する予定です。

### 6 地デジの今後

地デジへの移行によって、テレビが持つ可能性は大きく広が

ります。しかし3で述べたように、新たな難視聴地域が生じるなどのデメリットも懸念されています。

町では今年2月、自主共聴組合の代表者を対象とした地デジ説明会を実施しました。

その席上、総務省東海総合通信局山田良成電波検査官は、「地デジに関して周知に努めているが、まだ何も対応していない世帯も多い。自主共聴組合には、国やNHKなどの補助制度もあ



総務省東海総合通信局  
山田良成電波検査官

るので、それらを活用して速やかに地デジへの対応を進めてほしい」と訴えました。

地デジ放送への移行は、娯楽としての幅が広がるだけではありません。台風や地震などの緊急時に、正確な災害情報や気象情報をいち早くキャッチでき、その後の素早い避難や、防災対策を施すことにもつながります。町では、企画課が窓口となつて関係機関との調整を図り、受信点の調査などを進めています。国やNHK、町の補助制度などを活用しながら、難視聴地域の把握に努め、2011年の完全移行に向け対策を進めています。

総務省地デジコールセンター  
☎0570(07)0101